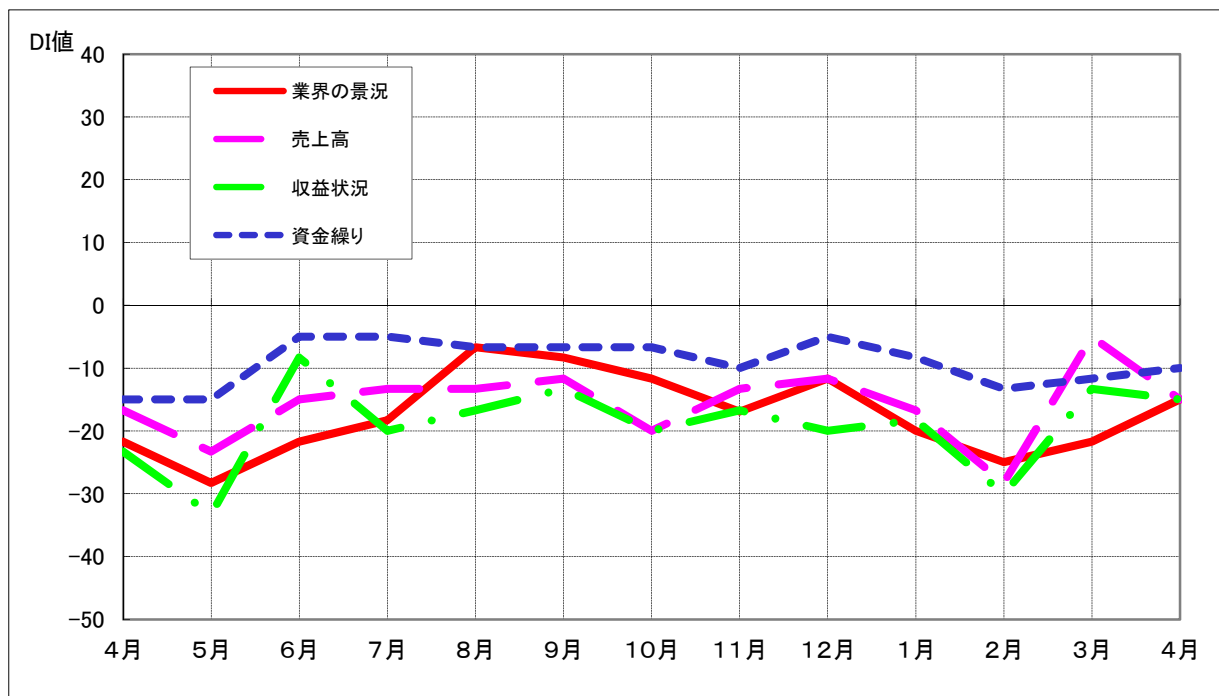


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成29年4月～平成30年4月

単位:ポイント



	H29				H30								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
業界の景況	-21.7	-28.3	-21.7	-18.3	-6.7	-8.3	-11.7	-16.9	-11.7	-20.0	-25.0	-21.7	-15.0
売上高	-16.7	-23.3	-15.0	-13.3	-13.3	-11.7	-20.0	-13.3	-11.7	-16.7	-28.3	-5.0	-15.0
収益状況	-23.3	-33.3	-8.3	-20.0	-16.7	-13.3	-20.0	-16.7	-20.0	-18.3	-30.0	-13.3	-15.0
資金繰り	-15.0	-15.0	-5.0	-5.0	-6.7	-6.7	-6.7	-10.0	-5.0	-8.3	-13.3	-11.7	-10.0

4月のDI値は前月と比べ、2項目改善、2項目悪化となった。「業界の景況」DI値は、6.7ポイント、「資金繰り」DI値は1.7ポイント改善。「売上高」DI値は10ポイント、「収益状況」DI値は1.7ポイント悪化となった。前年同月比でみると全項目で改善。「業界の景況」DI値は6.7ポイント、「売上高」DI値は1.7ポイント、「収益状況」DI値は8.3ポイント、「資金繰り」DI値は5ポイントそれぞれ改善した。

連絡員からは鉄工・金属製造業、機械器具製造業の一部で受注の増加の報告があるが、他製造業は、未だ原材料の高騰が続いており、今後も収益面では苦しくなるとの声も上がっている。非製造業では気温上昇で消費者の動きが活発となり、一部小売業・商店街では売上を伸ばしたと報告が寄せられているが、全体としては売上に繋がっていない様子である。

組合からの特記事項では、製造業においては、鉄工・金属製造業、機械器具製造業の一部で受注の増加がみられるが、人材の確保難との報告も上がっている。食品製造業では、未だ原材料の高騰が続いており、今後も収益面では苦しくなる予想される。生コン製造業においても前年比で出荷量が4割減となっており、厳しい状況が続いている。

非製造業では気温上昇で消費者の動きが活発となり、一部小売業・商店街では売上を伸ばしたと報告が寄せられているが、袋セメント卸売業、建築設計業、左官工事業などの建設業関連業界では受注量が減少しているとの報告が寄せられている。